

UTSummer Hinohara 2018 参加者アンケート回答（抜粋）

以下は、参加者に対して行われた事後アンケートの回答を抜粋したものです。（※個人情報保護の観点から、一部表現を変更しています）。

○キャンプに求めていたことは達成されましたか

—4 日間ずっと行われていた対話を通して、出身も全く違う人達が普段どんな事を考え、どんな事を感じているのかを明確に捉える事ができ、とても良い経験が出来たと思います。（高校1年生・女子・福島県）

—私はこのキャンプでたくさんの意見を聞くことを目的としていました。人の意見を取り入れて何かを自分自身に付け足したかったからです。自分の中身が空っぽで何かを持っている自分にしたかったと思う心があったのだと今になり気づいています。はじめの対話では自分もそうだ、と同調することが多く誰の意見に対しても納得してしまっていました。それは自分の軸がぶれていたからでしょう。対話を重ねるごとに人と違う考えを持たなければいけないような感覚に陥りました。自分を表現したくなりました。そこで人の意見をもっとイメージしながら聞くと、同じように思える感覚でも自分の中にあるものとは微妙に違うということに気づき、ただその微妙な部分を表現する難しさに言葉がつまりながらもなんとか伝えたいという意味すら芽生えました。本来吸収したいという受け身しかなかった自分が少しずつ変わろうとしていることを実感し、対話は自分の持っているものを引き出してくれた場だと感じています。（高校2年・女子・佐賀県）

—ほぼ達成されたと思います。僕が UTSummer に参加したきっかけは人と話すことに対する苦手意識を克服するためでした。それが実際に対話をしたことで話すことに面白さや楽しさを感じることができたのでとても満足しています。（高校1年・男子・岐阜県）

○全体を通しての対話の感想を教えてください

—1つのお題について1時間も話すと言われて、もつのかなと思っていたが、実際話してみると1時間じゃ全然足りなかった。ただただみんなが考えを述べていくのではなく、それに対しての質問や意見が次々に飛び交い、どんどん話が展開していくのがすごくワクワクしてもっと話したいなと思った。と、同時に、今までの自分がいかに相手の話に対して受動的で聞くことばかりに夢中になっていたかを痛感した。（高校2年・女子・東京都）

—本当によかった。大学生と話すのも「ああ、なるほどな」と思わせてくれるものばかりだったし、グ

ループの対話も普段こんなに本気で語り合うタイミングなんてなかなかないし、みんな違った過去を持ち、それぞれ違うところで育ち、それぞれ違う感性を持ってるからこそ学ぶものもあったし、共感できる場所も多くあった。人に話すとき、何となくほかの人に合わせてしまう癖があったけどこのキャンプ中は結構自分の意見を変えずに話せたような気がする。（高校2年・男子・徳島県）

一対話をする度にみんなのことを知ってって、自分のことを知ってって、対話がすきになった。次はどんなテーマだろってたのしみだった。普段の学校だったら絶対できないし、自分の意見を最後まで聞いてくれて、ひとつのテーマをみんなで深く話して行って、みんなのいろんな意見も聞けて楽しかった。

（高校1年・女子・青森県）

○キャンプを経て、何か変化を感じたことはありましたか（3ヶ月後に訊いたもの）

一よく人と話すようになりました。自分はそれまで意見を言いなさいと言われてたときにだけじっくりと考えてそれっぽい意見を出したりして、発言は得意な方だと思っていたのですが、実はそうでもないことを対話を通して気づいて、もっと日頃から自分の思いは形にしていけないと感じたからです。意見をなんとかして伝えたいと思うようになったので、人と違う意見も納得して個性として受け取ってもらえて、自分を認めてくれる人が増えて、かなり多くの人に本音で話せることが多くなりました！（高校2年・女子・佐賀）

一以前より対話をした事で人の意見をよく聞くようになり他人の考えを自分の生活で実践してみたり出来るほど人の意見に対する価値が広がった。（高校2年・男子・沖縄県）

一キャンプに参加したことでそれまで自分は話すのが上手だと思っていた自信をいい意味でへし折られたので、日常生活とかで話す時も簡潔さや伝わりやすさを意識するようになりました。また、将来的にどんな仕事に就いても自分の意見を分かりやすく話せる人になりたいと強く思うようになりました。これから色々試したり練習して上手に話せるようになろうと思う。（高校3年・女子・和歌山県）

○自由回答

一全然知らなかった高校生と、本音を語り合えたことでこの4日間でかけがえのない存在になれた。グループにしてもミックスにしても、皆んなが真剣にテーマについて話し合えたと思っている。自分とは違った意見によって新しい気づきを貰えた。段々と普段友達とは話さないような深いテーマになっていったけれど、テーマと真っ直ぐ向き合い、思っていることを答えられたと思う。いつもはあまり自分の意見を言えないので、誰かに自分の考えや気持ちを伝えることは貴重だった。自分の性格が学校でキャラを演じているうちにわからなくなっていたけれど、自分の本心が確認できたので、いろんなことに対してふっきれた。（高校2年・女子・徳島県）